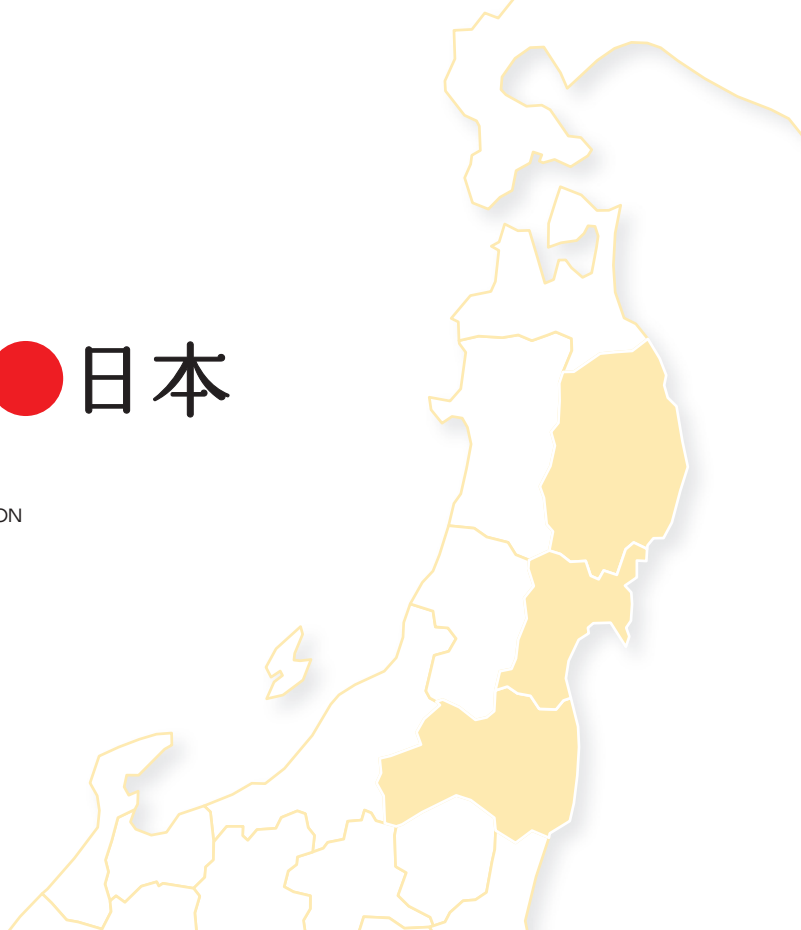


みんなでがんばろう●日本

2022 年度 年次報告書
GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE RECOVERY INITIATIVES FOUNDATION



公益財団法人東日本大震災復興支援財団

(お知らせ) 法人名称および代表理事変更のお知らせ

公益財団法人東日本大震災復興支援財団は、2023年9月1日より
公益財団法人子ども未来支援財団に法人名称の変更をしましたのでお知らせいたします。
また、法人名称とともに代表理事も変更となりました。
詳細はホームページをご覧ください。

ホームページを見る



当財団の理念

復興支援を通じて、次の世代が幸せに暮らす
社会の創生に貢献する。

目指すビジョン

子どもたちが夢と希望を育む環境を実現する。

設立～2023年3月末まで

東北への 支援額

45.79億円

支援した人数 および団体

約83,900人と706団体

※詳しい支援活動の内容は、中面をご覧ください。

ご寄付額および ご寄付人数

15億8,224万148円

累計24,200人以上

※Yahooネット募金、つながる募金など寄付プラットフォームで寄付頂いた件数は、月単位でまとめて計算される為、
実際の累計人数とは異なります。
※寄付の受付は2023年3月末で終了させていただきました。

ごあいさつ



代表理事

伊和 勝義

震災から12年が経ちました。

ひとえに12年と申しまして、被災地域で育ったお子さま、ご親族の皆さま、震災支援に関わった方、それぞれの方の様々な想いが詰まった歳月かと思います。当財団のこれまでの12年を振り返ると、東北の皆さまと膝を付け合わせて対話し、想いを傾聴し、寄付者の皆さまとのご縁に感謝する日々でした。

当財団は、今年の3月を以ってご寄付の受付を終了し、財団の活動終了時期を2026年5月までと決定させていただきました。

皆さまのご支援、ご協力により、これほど長く活動することができております。

改めましてこれまで多くの方にご支援いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

財団終了のその日まで、私どもができる限りの支援を寄付者の皆さまの想いとともに東北へお届けしていきたいと思います。

理事 大橋 智哉

東日本大震災から12年が経過しました。当財団にご寄付くださった皆様に心より感謝申し上げます。財団の立ち上げ当初から関わる中で、財団メンバーが「東北の子ども達のために何ができるのか」日々、考え続けている姿がとても印象に残っています。震災直後に実施した一時転居に関する費用助成「一時転居支援」から、直近では起業家応援事業「HAMADOORI フェニックスプロジェクト」まで、「今、何が必要とされているのか」東北の皆様に寄り添いながら検討、実施してまいりました。これからも我々の活動を見守って頂きますよう、お願い申し上げます。

理事 藤原 睦朗

東日本大震災から12年が経ちました。今年の3月末でご寄付の受付を終了させていただきましたが、これまで多くの寄付者の方々にご支援賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。皆様の温かい御支援により、東北の子どもたちが継続的にチャレンジできる環境を提供することができております。ご寄付者様のご厚意を東北の子どもたちの有為多望な未来のためにこれからも最大限に生かしてまいります。改めましてこれまでのご支援誠にありがとうございました。

理事 中村 聡宏

東日本大震災から12年が経過しました。いま、震災を知らない子どもたちも徐々に増えつつあります。被災から立ち直り新たな日常を過ごしている方々もいらっしゃる一方で、いまだに数多くの困難を抱える方々がいらっしゃるのも事実です。未来を担う子どもたちをはじめ、東北の皆様方に寄り添いながら、現状を知っていただき、また引き続き支援するための活動に取り組んでまいります。これまで当財団にご寄付をいただきました皆様には心より感謝を申し上げますとともに、今後とも一層のご支援、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

理事 吉田 千亜

東日本大震災から13年目を迎えます。日頃より当財団の活動に対するご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。当財団では、行政の支援の行き届かないところ、特に子どもたちに対する支援を中心に行って参りました。時間が経つと共に、個々の抱える背景、支援・賠償の格差等により、生活再建に苦しみ家庭も少なくありません。一人ひとりが救われる社会のために、当団体のような民間サポートにより、前向きな気持ちで未来を描ける子どもが一人でも増えるよう、理事として責任をもって関わりたいと思います。引き続き、みなさまのお力添え、東北へのあたたかな思いを継続していただくことをお願い申し上げます。

監事 齋藤 博之

東日本の多くの地に未曾有の被害をもたらした東日本大地震から丸12年が過ぎました。道路や鉄道が修復され、新たな宅地造成によって人々の生活が戻ってきている地域も出てきています。当財団もこの6月で13年目を迎えます。次世代を担う子供たちの夢や希望を育む環境の実現を目指すことも目標に支援活動を行ってまいりました。私たちの支援活動に多くの皆様から沢山のご寄付ご支援を頂き、心から深く感謝申し上げます。当財団では本年3月末をもちまして寄付の受付を終了とさせていただきますが、これからも被災地と被災地の子供たちを引き続き温かく見守りいただきたくお願い申し上げます。

※2023年8月末時点の役員情報となります。

活動のあゆみ



これまでの支援活動の概要と実績【設立～2023年3月末まで】

学べるしあわせをみんなに。

高校生対象給付型奨学金
「まなべる基金」

給付型奨学金

まなべる基金



東日本大震災の影響により家庭の経済状況が変化し、就学や進学が困難、また、経済的な理由により、学校生活に支障をきたす高校生のための返還不要の奨学金制度です。高校入学から卒業までの間、最大60万円を給付しています。高校生向けの給付型奨学金制度が少ない中、進学・就学が困難な状況においても学ぶことをあきらめない高校生を応援しています。

支援総額 16.1億円

支援者数 3,222人

※ 2023年3月までの支給実績額

連携団体

◎NPO法人ジービーパートナーズ



支援への御礼コメント

寄付者の皆さま、私たちの高校生活を支えてくださりありがとうございました。これまで私が経済的な不安を感じることなく学校生活や大好きな部活動が続けられたのは寄付者の方々のおかげです。心から感謝しております。頂いた奨学金は部活の遠征費用や授業に必要な物品の購入などに充てさせていただきました。これから専門的な知識や技術を身につけて、仕事を通して豊かで安全なまちづくりに貢献したいと思います。そして、これまで支えてくれた方々への恩返しをしていきたいと思います。
(岩手県宮古市出身／2023年3月卒業)

支援活動団体向け助成

子どもサポート基金



子どもたちの成長を支える団体の活動をバックアップ

子どもサポート基金



東北の子どもたちの支援活動に取り組むNPOやボランティア団体への助成を行っています。団体が継続して活動できるよう、複数年にわたる助成を行うとともに、組織の基盤強化をサポートし、希望を持ってたくましく成長できるような健康づくりを推進しています。

支援総額 11.7億円

支援件数 478団体

※ 2023年3月までの支給実績額



支援への御礼コメント

気仙沼の子育て支援団体9団体と市役所が連携し、子育てを地域一体となって見守るコミュニティづくりに取り組んでいます。震災前の気仙沼市は三世帯世帯が多く、地域コミュニティも盛んで、助け合いながら子育てができる町でした。震災の影響により公園や幼稚園が減り、住宅の流失により核家族化が急速に進んだことで、子育てを取り巻く環境は大きく変わりました。震災前のように子どもたちが豊かな環境の中でのびのびと生活でき、新たな子育て・子育てコミュニティがきちんと形成された持続可能なまちをこれからも目指します。温かなご支援により、子育て世帯と子育て支援団体の自立に向けた活動に繋げることができました。本当にありがとうございました。
(団体名：気仙沼子育てコレクティブインパクトプラットフォーム「コンダテノミカタ」 活動支援場所：宮城県気仙沼市)



話す・つながるをサポート 18歳まで携帯料金サポート

震災で保護者を亡くした子どもたちが、身近な人々と話し、つながるためのコミュニケーションツールとして携帯電話の料金をサポートしています。子どもたちが18歳になるまでの間、電話会社に関わらず、携帯電話やスマートフォンの料金を月々1万円までお支払いし、子どもたちを含むご家族の経済的な負担を軽減します。

支援総額 2,030万円

支援者数 63人

※ 2023年3月までの支給実績額



福島県浜通りの未来のための起業家応援事業

HAMADOORIフェニックスプロジェクト



福島県浜通りは、地震と津波、福島第一原子力発電所事故という多重災害により甚大な被害を受け、復興に時間を要しています。HAMADOORIフェニックスプロジェクトは、福島県浜通りで起業したいという地域貢献意識を強く持ち、地域のリーダーとなりうる若者を応援するための起業家応援事業です。

支援総額 5,583万円

支援件数 8団体

※ 2023年3月までの支給実績額

協力団体

◎HAMADOORI13 ※募集受付や交付決定者および団体への伴走などを主体となり実施



支援への御礼コメント

「東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から12年が経ちます。避難指示の続く地域もあり、まだまだ様々な課題を抱える福島県浜通りですが、みなさまからのあたたかいご支援により、若手起業家が新しい事業をスタートさせています。この地域の子供たちの未来の発展に寄与できるよう引き続き取り組んでまいります。今後ともご支援いただければ幸いです。

(一般社団法人HAMADOORI13 代表理事 吉田 学)



東北「夢」
応援プログラム

自ら行動する力を育み、未来の東北を担う人材を目指す

東北「夢」応援プログラム



東北に所縁あるトップアスリートや専門コーチたちの指導を通じて、東北の子どもたちの夢や目標の実現に向けて「主体的に計画・行動できる力」を育み、将来の東北を担う人材育成を目指します。

本プログラムでは、専門コーチたちは現地訪問による対面指導だけでなく、ICTを活用した動画指導を用いることで、子どもたち自ら掲げた目標の実現を継続的に応援しています。

支援総額 1.68億円

支援者数 1,593人

※ 2023年3月までの支給実績額

協力団体

◎ソフトバンク株式会社(動画指導で活用する通信機器を専門コーチ等へ貸出)



支援への御礼コメント

夢の実現は、自分のことと会話して本当の自分、本当に自分が好きなことを知り、それを自分の声と言葉で人に伝えることから始まる。ヴォイスブランディングを通じて子どもたちが自身の夢の実現に近づいていく姿が本当に素敵です。未来の子どもたちの夢の実現のために、あたたかいご支援をくださる多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

(団体名：福島大学 活動支援場所：福島県福島市)

地域と向き合う若者の活動を支援し、東北に活気と変化を創造する

ユースアクション東北



地元の復興や活性化に取り組む高校生や大学生の活動を支援しています。活動費用の助成の他、活動の実現に向けて助言や協力をしてくれる「伴走者」も紹介し、東北に更なる活気生まれていくことを目指します。

支援総額 529万円

支援件数 35団体

※ 2022年度活動実績なし

2022年度 財務報告

2022年6月1日から2023年5月31日まで

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	13,230	14,492	△ 1,262
特定資産受取利息	13,230	14,492	△ 1,262
受取寄付金	304,493,420	246,236,873	58,256,547
受取寄付金	304,493,420	246,236,873	58,256,547
雑収益	13,317,460	12,269,844	1,047,616
受取利息	775	618	157
助成金返金益	9,041,240	6,207,627	2,833,613
寄附金返金益	4,272,445	6,031,599	△ 1,759,154
その他雑収益	3,000	30,000	△ 27,000
経常収益計	317,824,110	258,521,209	59,302,901
(2) 経常費用			
事業費	255,820,335	216,490,591	39,329,744
旅費交通費	1,563,981	1,256,665	307,316
賃借料	5,958,660	6,146,916	△ 188,256
業務委託費	6,406,641	5,980,401	426,240
支払助成金・支払寄附金	239,801,371	201,944,572	37,856,799
まなべる基金	36,792,500	25,805,500	10,987,000
子どもサポート基金	101,275,000	79,955,000	21,320,000
18歳まで携帯料金サポート	332,499	542,881	△ 210,382
福島人材育成支援（福島子ども未来塾）	10,000,000	26,000,000	△ 16,000,000
東北「夢」応援プログラム	8,613,520	15,844,800	△ 7,231,280
起業家応援事業	64,890,000	34,560,000	30,330,000
その他の寄附	17,897,852	19,236,391	△ 1,338,539
その他の事業費	2,089,682	1,162,037	927,645
管理費	29,944,021	26,400,929	3,543,092
給料手当	3,994,908	3,874,908	120,000
業務委託費	5,971,895	5,169,484	802,411
通信運搬費	2,640,873	2,427,367	213,506
支払報酬	3,505,700	3,570,050	△ 64,350
出向負担金	6,112,173	6,085,274	26,899
設備管理金	1,708,412	1,747,397	△ 38,985
その他の管理費	6,010,060	3,526,449	2,483,611
経常費用計	285,764,356	242,891,520	42,872,836
評価損益等調整前当期経常増減額	32,059,754	15,629,689	16,430,065
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	32,059,754	15,629,689	16,430,065
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	32,059,754	15,629,689	16,430,065
一般正味財産期首残高	75,766,786	60,137,097	15,629,689
一般正味財産期末残高	107,826,540	75,766,786	32,059,754
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	1,336,300	△ 1,336,300
受取寄付金	0	1,336,300	△ 1,336,300
一般正味財産への振替額	△ 184,311,963	△ 124,473,807	△ 59,838,156
一般正味財産への振替額	△ 184,311,963	△ 124,473,807	△ 59,838,156
当期指定正味財産増減額	△ 184,311,963	△ 123,137,507	△ 61,174,456
指定正味財産期首残高	1,333,137,813	1,456,275,320	△ 123,137,507
指定正味財産期末残高	1,148,825,850	1,333,137,813	△ 184,311,963
III 正味財産期末残高	1,256,652,390	1,408,904,599	△ 152,252,209

地域や人と交流しながらさまざまなプログラムに挑戦する

福島子ども未来塾



福島県の未来を担う人材の育成を目指し、自然体験や郷土文化の学習、国際交流など、1年をかけて総合的な体験活動を提供しています。仲間と一緒に寝食を共にし、さまざまなチャレンジを重ねながら、福島の未来や自分自身の将来を描きます。

支援総額 7,850万円

支援者数 2,017人

※2023年3月までの支給実績額

主催

◎独立行政法人国立青少年教育振興機構

連携団体

◎一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION

◎NPO法人じぶん未来クラブ など



支援への御礼コメント

私は、福島子ども未来塾で東日本大震災について学んだことが心に残っています。実際に、津波に襲われた地域を見に行き、「ひどいな。」と思いました。思っていたよりも町や学校がぐちゃぐちゃで胸が苦しくなりました。「ここに、本当に人が住んでいて町があったなんて。」と思いました。一刻も早く、活気のある元気なところになってほしいと思いました。しかし、調べてみると、こういった災害の被害を受けているところは世界各地にあることが分かりました。自然災害はだれにも止めることはできないので、防災や減災に取り組むしかないと思います。私は震災のことをもっと学び、その悲惨さや教訓を世界の人に広めたいと考えています。そして、魅力ある福島県をたくさんの人に知ってもらえるようにしたいです。（福島子ども未来塾 参加小学生）

その他の支援活動

将来、東北の復興を担う人材の育成など、他にもさまざまな支援活動を行っています

一般社団法人田部井淳子基金

東北の高校生たちと夏休みに富士山に登り、自然の素晴らしさを体験してもらいながら挑戦する力や仲間と協力する力などを高める活動を支援

小牛田高等学園フラダンス部

フラダンス部の活動を支援するとともに、財団への募金活動をしていただく相互支援を実施

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

福島の高校生が地域づくりや地域も課題解決などに関する体験活動を支援

バチカンより日本へ 祈りのレクイエム実行委員会

音楽家や合唱団を招き被災地で音楽コンサートを開催したほか、地元の学生との交流イベントも実施

魂に響く ギフトコンサートの会

音楽の力で福島県内の子どもたちの心のケアを行う活動を支援

一般社団法人 HAMADOORI13

若者応援事業「HAMADOORIフェニックスプロジェクト」主体実施における支援

NPO法人 おおふなと市民活動センター

大船渡市内の高校生がプロデュース・実施する市内イベントを支援
※新型コロナウイルス拡大の影響により今年度の開催は中止

福島大学 災害ボランティアセンター

「第10回集まれ!!!ふくしま子ども大使」を運営し、全国の小学生に福島県の魅力を知ってもらうイベントを開催

岩手・宮城・福島 MIRAI 文学賞・映像賞

18歳から33歳の若者を対象に文学および映像を募集し、震災で多大な被害のあった3県の復興創生に寄与する作品を広く周知し、観光・産業分野に貢献することを目指す活動を支援

当財団に関する情報を発信しています。ぜひご覧ください。

みんなて
がんばろう
日本 ●

公式ホームページ
http://minnade-ganbaro.jp/

f

公式フェイスブック
https://www.facebook.com/ganbarojp

東日本大震災復興支援財団

検索

※ 2023 年 8 月末時点の役員情報となります。

団体概要

みんなて
がんばろう
日本 ●

団 体 名 公益財団法人東日本大震災復興支援財団

設 立 日 2011 年 6 月 14 日 人 員 構 成 評議員 6 名、理事 7 名、監事 2 名

評 議 員 寺 島 実 郎 一般財団法人 日本総合研究所 会長 小宮山 宏 株式会社 三菱総合研究所理事長
村 井 純 慶應義塾大学 教授 中村 伊知哉 iU（情報経営イノベーション専門職大学）学長
藤 原 和 博 教育改革実践家 青 野 史 寛 ソフトバンク株式会社 専務執行役員 兼 CHRO

代表理事 立 石 勝 義

理 事 佐 藤 大 吾 NPO 法人ドットジェイピー理事長
大 橋 智 哉 税理士法人 山田 & パートナーズ シニアマネージャー
藤 原 睦 朗

中 村 聡 宏 立教大学スポーツウエルネス学部 准教授、一般社団法人日本スポーツマンシップ協会 代表理事 会長
池 田 昌 人 ソフトバンク株式会社 コーポレート統括 CSR 本部 本部長
吉 田 千 亜

監 事 齋 藤 博 之 テラスエナジー株式会社 監査役
大 城 聡 東京千代田法律事務所弁護士

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

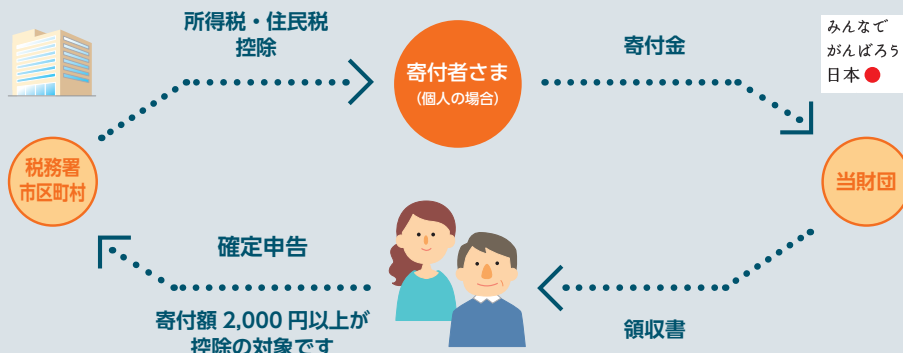
これまでのご支援誠にありがとうございます

2023年3月31日を以ってご寄付の受付を終了させていただきました。

長年にわたりご支援いただきましたこと改めて御礼申し上げます。なお、今後も、これまでお寄せいただきましたご寄付で活動を継続いたします。

寄付の税制優遇措置について

当財団へのご寄付は、税制優遇を受けられます。



※ 1 個人住民税の対象は、全国一律ではありません。詳しくはお住まいの都道府県税事務所・各市町村の徴収窓口までお問い合わせください。

※ 2 法人の申告については、その法人の資産や所得の金額によって限度額が異なります。各法人の経理部門または最寄りの税務署へお問い合わせください。

※ 2020年10月16日以降に当財団に入金されたご寄付は従来の「所得控除」に加え「税額控除」も適用されることとなりました。

2022年度にご寄付をいただいた皆さま (敬称略・50音順)

※ 1回の寄付金額が10万円以上で、承諾をいただいた方を掲載させていただいております。

アイティメディア株式会社	株式会社ナゴウェブ	国際人材開発株式会社 (JCLI 日本語学校)
SBクリエイティブ株式会社	株式会社ピコラボ	写真家 HIRO KIMURA 写真展「HERO2」
SB C&S株式会社	株式会社ファンケル (株主優待制度を通じた株主様からの寄付)	湘南国際マラソン実行委員会
大関株式会社	株式会社 Links 会計事務所	鈴木千恵子
加藤塗装工業株式会社	株式会社和雲	成田山深川不動堂
株式会社エイト	絆マラソン実行委員会	HARIO株式会社
株式会社KTSコーポレーション	久喜音楽文化振興会	ライフカード株式会社

みんなで
がんばろう
日本 ●

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

info@minnade-ganbaro.jp

東京事務所

〒105-7535 東京都港区海岸1丁目7番1号
東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 35 階

東北事務所

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡一丁目1番1号
JR 仙台イーストゲートビル 3F WeWork 内



この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に、デザイン制作および製造を依頼し発行したものです。

2023年8月発行